

【正誤表】

凡例
v：
×ただし、（原文にある語句をそのまま訳文中に補って訳す場合、たとえば「四頭立ての馬車（das Viergespann）」のように、（ ）に原語を入れて訳語の意味の補足としたこともある。）
→ ○ただし、原文にある語句……補足としたこともある。
同vi
×聖書からの引用文は『聖書新共同訳 旧約聖書続編つき』（日本聖書協会）による。
→ ○聖書からの引用は『聖書新共同訳 旧約聖書続編つき』（1996年、日本聖書協会）による。

訳者まえがき
xv ×まとめた一巻本のうち → ○まとめた一巻本のうちでは

第一部：思慮
9ページ、9行目 ×精神（知性）的 → ○精神〔知性〕的
23ページ、5-7行目 ×この相互の依存性については同じ意味の依存関係ではない——にしてもいずれ
→ ○ただ、同じ意味の依存関係ではないが。この相互の依存性については、いずれ
28ページ、111行目 ×〔沈黙する者だけが聞いている〕
→ ○（沈黙する者だけが聞いている）

第二部：正義
58、下から5行目 ×（自らの意志による） → ○〔自らの意志による〕
73、訳注8 ×bonum dilectabile → ○bonum dilectabile
109、1行目 ×道徳の話に → ○道徳主義的な話に
112、下から3-2行目 ×もしこのような規範が効いて → ○もしこのような基準が生きて
121、下から15行目 ×考慮にすること → ○考慮すること
126、16行目 ×出でくる → ○出てくる
133、下から2行目 ×愛が根を → ○愛が根を

第三部：勇氣
140、12-11行目 ×「キリスト教的な社会形而上学 → ○キリスト教的な社会形而上学
168、下から14行目 ×「靈的贈物」 → ○「靈的賜物」

第四部：節制
203、9行目 ×再婚の否定 → ○再婚の拒否
236、下から8行目 ×（acedia〔専念できない物愛い悲しみ〕の → ○（acedia〔専念できない物愛い悲しみ〕）の
238、8行目 ×真冬の前のような → ○真冬の朝のような
239、下から4行目 ×人が正しくないのか正しいのか → ○人が不正な人なのか、それとも正しい人なのか

出典注
245、下から7行目 ×2, ad 2 → ○2 ad 2

解説
257、7-8行目 ×『羅葡日辞典（新版が*Lexicon Latino-Iaponicum*として1870年にローマで）』には
→ ○『羅葡日辞典』（新版が*Lexicon Latino-Iaponicum*として1870年にローマで）には
257、9行目 ×「憲法の善」 → ○「憲法（けんぽう）の善」
265、下から4行目 ×1950 → ○1972
266、2行目 ×1964 → ○1950

訳者あとがき
267、33行目 ×長崎純心女子大学 → ○長崎純心大学
同、下から3行目 ×教育哲学の河原国男先生 → ○教育思想史の河原国男先生
268、下から9行目 ×お借しいただき → ○お貸しいただき

索引に追加補正：
272-273ページ・完全無欠、何一つ欠けていない、無傷の完全性、損傷を受けていない integritas; Unverschrtheit; intactness,
blameless, undamaged etc. 142, 145, 147, 149, 154, 233, 241
274ページ・功利性、功利主義 Nützlichkeit, Nützlichkeithetik; utilitarianism 10, ×130 → 10, ○30
275ページ・醒めて客観的な、醒めて恬淡（淡々、清淡）とした sobrius; nüchtern: sober 59, 81, 121, 242
279ページ・沈黙 Schweigen; silence 20-21, 23, 28-30, 138-39 190, 193-94, 238